

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		給水装置等管理事業		担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3925
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり	根拠法令 個別計画等	水道法、深谷市水道事業給水条例、深谷市水道事業給水条例施行規程、深谷市水道事業指定給水装置工事事業者規程				
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		給水装置工事の適正な施工・維持管理を図るため、条例等に基づく給水装置工事の申請・審査・検査及び維持管理等の指導を行う。							
目的 ※何のために		給水装置工事及び維持管理などについて指導・監督を行い、水道利用者への安全・安心な水の供給を確保する。							
対象 ※誰・何を対象に		給水装置工事事業者及び給水装置等							
手段 ※どのように		条例等に基づく給水装置工事の申請受付・審査・検査及び維持管理等の指導を行う。							
成果 ※何を求めるか		条例等に基づく給水装置工事及び維持管理等が適切に行われ、安全・安心な水道水の供給が確保できる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・給水装置工事にかかる申請・審査・検査等				・			
		・給水台帳の管理				・			
		・指定給水装置工事事業者の指定および指導・監督				・			
		・貯水槽水道に関する指導等				・			
		・				・			
		・				・			

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	4.62	4.96	5.31	5.46	5.46	5.75
	人件費相当試算※	35,938,980	38,598,720	41,741,910	44,422,560	42,380,056	46,755,251
総事業費試算		35,938,980	38,598,720	41,741,910	44,422,560	42,380,056	46,755,251

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	給水装置工事申請件数	目標値	件							
		実績値		1208	1159	1079	1128	1111	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標設定不可・市の働きかけによるものでないため/当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 2	貯水槽設置件数	目標値	件							
		実績値		7	17	23	15	15	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標設定不可・市の働きかけによるものでないため / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 3	貯水槽の指導件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標：指導なし（ホームページで情報提供） / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	給水装置工事竣工検査実施率	目標値	%	0	100	100	100	100	100	
		実績値		100	100	100	100	100	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		竣工検査申請に対し、検査は１００％実施しているため / 竣工検査件数／竣工検査申請数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	給水装置工事竣工検査時改善指導を行った割合	目標値	%	0	0	0	0	0	0	
		実績値		2.78	2.62	2.58	1.83	1.13	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標：指導なし / 指導件数／竣工検査申請件数							
	実績値の算出式			25／900	26／993	23／893	17／931	15／1316		
成果指標 3	貯水槽の指導を行った割合	目標値	%	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標：指導なし（過去指導実績なし） / 指導件数／貯水槽設置数							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和3年度の給水装置工事の承認申込件数は、1,111件あり、その内、貯水槽の設置は12件あった。また、貯水槽に関する指導事案は特に発生していない。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	令和3年度、給水装置工事竣工検査申請のあった、1,316件に対し、滞りなく検査を実施し竣工を確認した。 市からの業者に対する指導・監督により、指導件数・割合が減少傾向となった。
			評価者 給配水係 松村 正康

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	給水装置業務において、適切な業務執行体制の整備や業者に対する指導・監督により、円滑な業務執行ができた。
			評価者 給配水係 松村 正康

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	給水装置工事承認申込手続きや給水相談等の事務処理を適切に行い、記録の整理や職員間の情報共有を図る。
達成状況及び その効果	給水相談等において、相談記録の作成や職員間の情報共有を適時・適確に行い、窓口対応等で円滑な業務執行ができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	給水装置等管理事業	担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3925
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>給水装置工事の関連業務や相談業務では、適時・適確な対応を行い、円滑な業務執行ができた。今後も職員間の情報共有を徹底し、円滑な業務執行に向けて取り組みを継続する。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	環境水道部次長兼水道工務課長 山中 勉				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

